

企画名： 「希望ある未来を自分たちの手で～ドイツの市民が目指す原発のない社会」  
実施日時： 1月14日（土） 19：00～20：30  
実施場所： パシフィコ横浜会議センター 4F 421  
参加人数： 約70名  
文責： 及川齊志（エコ・フライヴィリヒ）

#### 【企画内容】

映画『シェーナウの想い ―自然エネルギー社会を 子どもたちに―』の上映と話し合い

上映会には定員（50名）を大幅にオーバーする約70名が詰めかけてくれ、立ち見の人、さらには後から聞いた話では、入場をお断りするくらいの盛況ぶりでした。当日入室できなかった人には申し訳ないと思っています。何らかの方法で映画をお見せすることが出来ればよかったと反省しています。

当日の流れは、始めに約5分間、隣前後の方と2, 3人で『住民運動』について思いつくことを話し合ってもらいました。今回の映画『シェーナウの想い』の主要テーマが『住民運動』だったので、まずはじめにこれについて思うことをグループで述べてもらいました。その後約1時間の映画『シェーナウの想い』を見て頂き、この映画の配給元である「自然エネルギー社会をめざすネットワーク」の紹介をし、映画に関わってくれた人たちに対してこの場を借りて感謝の意を表しました。シェーナウ電力会社社長のウルズラ・スラーデックさんのメッセージ（約2分）を見てもらい、その後再度、参加者の方々の隣近所のグループで映画や当日の感想を話し合ってもらいました（約10分）。質疑応答の時間を取り（約5分）、予定どおり8時30分に終了しました。

この企画の反響は非常に大きく、この映画の価値を再確認しました。企画終了後、『上映会』を是非したいという方々が多数、私たちのもとに来てくださりました。参加者の皆さんに大きな感銘と希望を与えられたのではないかとうれしく思っています。

